

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	131豊かな人間性を育む幼児教育の充実		
施策のねらい(めざす姿)	家庭、幼稚園・保育所、地域社会の連携が深まり、幼児たちがいきいきと活動しています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	健康福祉部次長
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	マネージャー氏名	西山 珠樹

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	国はすべての子どもに質の高い幼児教育を保障するため、幼児教育の無償化に段階的に取り組んでおり、市においてもそれらを踏まえ、実施していく必要がある。	③改革・改善内容	国はすべての子どもに質の高い幼児教育を保障するため、幼児教育の無償化に段階的に取り組んでおり、市においてもそれらを踏まえ、実施していく必要がある。
②①に基づく取り組み結果	幼稚園就園奨励費について国の補助の改正を踏まえ、市の制度改正を実施した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	幼稚園とその在園児・保護者	意図(対象をどうするのか)	すべての園児に等しく質の高い教育が保障される
②施策の概要	全ての園児に等しく質の高い教育が保障されるよう、幼児教育体制の充実や、幼稚園に在園している世帯の経済的負担の軽減を図るため、幼稚園就園奨励費の交付を行う。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	平成30年度に令和元年10月からの幼児教育の無償化の内容が示され、これまでの所得階層に応じた幼稚園就園奨励費の支給から、所得にかかわらず上限額の範囲内で、幼稚園施設等利用費として給付する制度に変更となる見込みである。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29～30年度の施策の成果	H29年度：ひとり親、第2子、第3子などの世帯における補助上限額を拡充 H30年度：ひとり親世帯等、多子世帯における保護者負担軽減措置の更なる拡充						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(2年度)
	i	市内幼稚園児・保育所児童数	人	3,601	3,537	3,484	3,500
	ii						
	iii						
③基本事業成果指標	i	幼稚園振興費補助金支出件数	件	9	9	9	9
	ii	幼稚園就園奨励費補助金支出件数	件	1,965	1,831	1,719	1,900
	iii						
	iv						
	v						
vi							
vii							
viii							
ix							
④施策の事業費	平成29年度決算	平成30年度決算	市民一人あたり事業費(30年度決算)		令和元年度予算		
事業費(千円)	270,620	246,617	(単位:円)		2,255 円		471,466

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	国の幼児教育無償化に向けた取り組みにより、就園奨励費補助金の補助内容は拡充されているものの、少子化の影響もあり同補助金の額は減少している。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	国の制度改正に伴い遅滞なく市の制度改正を実施したが、幼稚園児・保育所児童数は減少し、補助金支出件数も減っており、指標の達成基準から評価したもの。

V 今後の方向性

①施策の方向性	↑ 拡充
②上記方向性の説明	子育て支援策の拡充は市の重点施策であり、その経済的支援の一つである幼稚園就園奨励費(無償化後は幼稚園施設等利用費)の交付は、国の無償化に向けた取り組みを踏まえ、実施していかなければならない。
③特に重点化する事務事業	私立幼稚園等に要する経費